

リアルタイム現地情報

鹿島松生産組合 先進事例研修を開催

令和5年6月23日（金）鹿島松生産組合の生産者3名が、若松の3大産地である兵庫県丹波市の若松生産圃場を視察研修しました。

茨城県は、正月用枝物として使用される若松の全国一位の産地で、鹿嶋市・神栖市を中心に生産されています。鹿島松生産組合も若松の生産に取り組んでおり、今回の視察研修では、若松の圃場管理方法や調製・選別作業の機械を見学するとともに、現地の生産者と栽培管理や病害虫対策について意見交換を行いました。

圃場や作業場の視察では、「若松生産上問題となっている病害虫は何か」「出荷・調製作業の方法や出荷規格はどのようになっているか」等、双方の生産者から活発な質問が上がり、有意義な研修となりました。

普及センターでは引き続き、地域特産品である若松の生産振興を支援していきます。

